

第4問 (20点)

当月中における、次の一連の取引について仕訳をなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

材	料	材 料 副 費	賃 率 差 異	賃	金	予 算 差 異
材料副費配賦差異		仕 掛 品	製 造 間 接 費	買	掛 金	操 業 度 差 異

- (1) 素材 1,500 kg (購入代価 1,980 円/kg)、買入部品 2,000 個 (購入代価 120 円/個)、工場消耗品 130,000 円 (購入代価) を掛けて購入した。なお、購入に際して、購入代価の 10% を材料副費として予定配賦している。
- (2) 素材 1,300 kg、買入部品 1,750 個、工場消耗品 143,000 円を消費した。なお、材料の月初在庫はなかった。
- (3) 当月の賃金消費額を計上する。直接工の作業時間報告書によれば、直接作業時間は 800 時間、間接作業時間は 35 時間であった。当工場において適用される直接工の予定賃率は ? 円/時間である。なお、直接工の当月賃金支払高 1,240,000 円、当月賃金未払高 217,510 円、前月賃金未払高 200,000 円、賃率差異 (借方差異) が 5,010 円発生している。また、間接工の要支払額は 697,500 円であった。
- (4) 当月の直接作業時間にもとづき、製造間接費を各製造指図書に予定配賦する。なお、当工場の年間の製造間接費予算は 20,286,000 円、年間の変動製造間接費予算は 8,114,400 円であり、年間の予定総直接作業時間は 9,660 時間である。
- (5) 当月の製造間接費の実際発生額は 1,680,000 円であったので、(4)の製造間接費予定配賦額との差額を予算差異勘定と、操業度差異勘定に振り替える。

第 5 問 (20 点)

ZNK工場は、製品 X を製造・販売している。次の [資料] をもとに、答案用紙の①と⑦には適切な用語を、それ以外には適切な数値を記入しなさい。なお、記入できる用語は次のものに限る。

変動加工費	貢献利益	損益分岐点	当期純利益
固定加工費	製造原価	売上総利益	原価差異

[資料]

1. 販売単価 5,000 円／個

2. 製品 X 1 個当たり全部製造原価

	× 1 期	× 2 期
直接材料費	? 円	? 円
変動加工費	? 円	? 円
固定加工費	? 円	? 円
	3,735 円	3,700 円

3. 固定加工費総額は×1期、×2期とも 5,880,000 円であった。固定加工費は各期の実際生産量にもとづいて実際配賦している。

4. 販売費及び一般管理費 (每期同額)

変動販売費 400 円／個

固定販売費及び一般管理費 3,000,000 円

5. 生産・販売状況 (期首・期末の仕掛品は存在しない)

	× 1 期	× 2 期
期首製品在庫量	0 個	0 個
当期製品生産量	4,800 個	4,900 個
当期製品販売量	4,800 個	4,500 個
期末製品在庫量	0 個	400 個